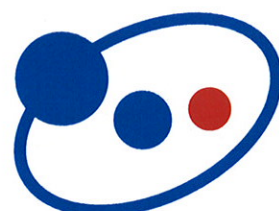


ヒューマンハーバー



Human Harbor

9月号 協同組合ハイコープ組合報
Vol.192 2010年(平成22年)9月21日(火)発行



◆メンバーの生ゴミ堆肥とEMで育つ里芋
食品循環実験「EM普及菜園」



◆関東地区本部主管イベント
「日本で一番大切にしたい会社」
日本理化学工業の視察
大山会長さんの案内で工場視察

「国際協同組合年」って 知っていますか

国連が2012年を「国際協同組合年」とすることを決議し、その準備をはじめたと9月初旬、ニュースが流れていました。

世界各国のいろいろの協同組合運動(農協、生協、魚協、労働組合、中小企業等組合…)が、今日の世界経済、社会の行きづまり感を打破するため、また女性、若者、高齢者、障害者、中小零細企業等々経済的弱者救済のため、大変有効と考え、国連がこれまでの協同組合活動を評価している点、注目したいものです。ハイコープの相互扶助精神に基づく組合活動も益々重要となってきます。さて前にも本誌で記しましたが、市場原理主義、市場万能主義が行き詰まり、やがて共生時代の到来を予測する経済評論家の内橋克人氏は、著書「共生の大地」で「共生セクター」(資本主義社会、市場社会の競争原理とは異なる、「協同」「連帯」「参加」という共生の原理で動く組織や社会)としての協同組合の役割が大変重要な時代になった。またF(食料)、E(エネルギー)、C(ケア・介護)の地域自給自足圏構想を提唱しているが、今まさに日本は食料、エネルギー、ケア・介護とも不安な国となり、その再構築と協同組合セクターの活躍が緊要であると述べています。

7月、企業視察で訪問した日本理化学工業は、まさに共生時代のモデル企業です。

1

CONTENTS

巻頭	1
日本理化学工業の視察と講演から	2
多くの企業が逃げている現状	2
新商品の開発に向って	2
みんなが支えてくれる会社づくりを!	3
企業訪問セミナーレポート	3
写真で綴る関連事業・スケジュール	6
PETIT情報・編集後記	6